

沼田市役所夏の節電行動計画（２０１４年）

1 目的

本市は、東日本大震災に伴う電力事情を踏まえ、２０１１年度から節電計画を策定して様々な節電対策を実施してきました。今夏の東京電力管内における電力需給は安定供給に最低限必要な分を確保できる見通しであるものの、節電対策は地球温暖化対策としても不可欠な取り組みです。そこで、今年度も節電行動計画により、率先して節電に取り組めます。

2 計画期間

６月１日～９月３０日

3 節電行動対象施設

すべての市有施設とする。

（道路設備、上下水道施設等、市民生活に影響を及ぼすものを除く）

4 節電行動

業務に支障をきたさない範囲で、下記の取り組みを行う。

区分	行動内容
①照明	<ul style="list-style-type: none">・照明は、設備の実情に応じて２割から５割程度間引く。・トイレ、給湯室等は使用時のみ点灯する。・昼休みの消灯を徹底し、勤務時間外は必要箇所のみ点灯する。 （窓口業務及び接客対応時を除く）・ノー残業デーを徹底する。・会議室は利用時間のみ点灯し、人数に応じて点灯箇所を調整する。・自然光を取り入れ、照明の削減を図る。・会議等は、電力使用のピーク時間帯のうち午前１１時から午後３時の時間帯を避ける。
②空調	<ul style="list-style-type: none">・冷房２８℃以上の設定温度を徹底する。・雨天等、外気温が低い場合は、冷房を切って外気を取り入れる。・個別運転が可能な機器は、必要台数のみ使用する。・クールビズ（軽装）を推進する。・扇風機等を活用して、室内の空気循環を行い、室温の均一化を図る。・カーテンやブラインドを効果的に使用し、冷房効率を向上させる。・緑のカーテンなどを活用し、室温の上昇緩和に努める。

③室内機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 席を離れるとき、昼休みはパソコンをスタンバイモードにする。2時間以上席を離れる場合は、主電源を切る。 ・ プリンタなどOA機器は、使用するときのみ電源を入れて、こまめに主電源を切る。 ・ 待機電力消費防止のため、使用しない機器は、プラグをコンセントから抜く。 ・ 電気ポット等保温機能付き電気製品は使用しない。
④その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターは原則使用禁止とし、階段を利用する。 ・ 手動ドアがある場合、職員は自動ドアの利用を控える。 ・ 暖房便座は、コンセントからプラグを抜く。 ・ 上記以外のほか、各部署、施設ごとに創意工夫して電気使用量の削減に努める。

5 留意事項

- ・ 保育園、幼稚園、学校、福祉施設等は、子どもと高齢者の熱中症等の対策にも十分な注意を払うこと。
- ・ 施設の出入り口、階段の昇り口・降り口などの照明には配慮をすること。
- ・ 施設貸出の際は、利用者に節電を奨励すること。